



## 馬淵こども園 教育目標

### 自分のまんま

<自分の思いを素直に表現する子ども>

### やさしいっぱい

<相手の思いに気づくやさしい子ども>

### なんでも挑戦 みんなで挑戦

<どんなことでも自らやってみようとする子ども>

# まがちこどもえんだより

令和7年（2025年）7月1日  
近江八幡市立馬淵こども園

畑やプランターの夏野菜やゴーヤが順調に大きくなり、子ども達は生長を楽しみにしながら毎日水やりをしてくれています。花が咲き、実がついてくると「赤ちゃんができてきた。」「大きくなった。」と感動を伝え、収穫を喜んでいます。

7月は熱中症対策をしながら、この時期ならではの水遊びやプール遊びを存分に楽しみ、元気に過ごしたいと思います。



## あおぼ保育所のお友達こんにちは！

馬淵町の八幡社であおぼ保育所たんぽぽ組のお友達と出会い、一緒に遊びました。初めは恥ずかしそうにしていた子ども達でしたが、「お名前はなんていうの？」「どこの小学校に行くの？」「一緒の小学校だね。」などと話をしたり、遊具で一緒に遊んだりするうちにだんだん打ち解けていきました。帰りには「また一緒に遊ぼうね。」と次に会えるのを楽しみにお別れしました。



## 小学生との交流

馬淵小学校1，2年生の音楽会リハーサルを聴かせていただきました。ピアノの演奏やとてもきれいな歌声を憧れのまなざしで聴いていた子ども達は「じょうずやったね。」「かっこよかった。」と園に戻ってからは小学生の姿を意識する姿が見られました。小学生のお兄さんお姉さんのようにやってみたいと思える憧れの気持ちを大切にしていきたいです。

# 馬淵こども園での 学びの姿

# 友だちや異年齢での育ち合いがいっぱい

## 砂遊びを通して

砂を掘ったり、水を流したりして山や川を作るのを楽しんでいる子ども達。樋を使って流すことを楽しんでいた5歳児が「流しそうめんみたい。」と家での経験からイメージしたことで友だちと協力し合いながら樋をつなげて色々な物を流すことを楽しみ始めました。砂場では友だちとイメージしたものを一緒に作ったり、時には思いが違ってそれはして欲しくなかったということがあったり…友だちと楽しい遊びが展開されています。



## 泥だんご作りを通して

砂で泥だんごを作っていた子どもたちがすぐに壊れてしまうことで園庭のどこの土を使うと硬い泥だんごができるのか、試行錯誤していました。

ある日、「ここの土で作ったら、こんな固いのができた!」「触ってみて。」と硬くできた泥だんごを見せてくれました。

「ぎゅっぎゅっするねんで。」「次はさら砂かけるんやで。」「さら砂はこうやって作るねん。」「このさら砂使っていいで。」「袋に入れておくともっと硬くなるで。」

と硬い泥だんごの作り方を友だちや先生に誇らしげに伝えたり、興味を持って見に来た3歳児に作り方を教えたりしていました。



## 飼育活動を通して

## 命を感じる活動

## 栽培活動を通して

園の花壇にたくさん植えてあったパンジーやヒオラにオレンジの斑点のある黒い幼虫がたくさんいました。子ども達は「毛虫や。」「いや、これは毛虫じゃないよ。」「図鑑で調べよう。」「こんなオレンジの蝶々になるんやって。」「ツマグロヒョウモンっていうんや。」ということがわかり、どのクラスでも人気者になり、育ててみることになりました。だんだん幼虫から蛹になり、少しずつ羽化し始めています。時にはうまく羽化できない蝶もあり、ツマグロヒョウモンの観察をとおして命を感じる体験をしています。



畑のキュウリやトマト、ナスなどの夏野菜が実をつけ始め、朝水やりをしている子どもたちが「キュウリが大きくなって。」「キュウリはチクチクして痛い。」「葉っぱもチクチクしてる。」「黄色のお花のところにおちゃんのキュウリがあった。」「トマトが2つ赤くなった。」「ナスも大きくなった。ナスはあまり好きじゃない…」など自分たちで育てて収穫することでたくさんの気づきがあり、友だちや先生に伝え合い喜び合う姿が見られます。

収穫した野菜はそのままの味を味わったり、塩もみ、炒めるなどの簡単な調理をして食べたりすることで苦手だった野菜も「おいしい。」「お家でも食べてみよう。」という嬉しい声も聞けました。



## PTA活動



環境部の皆さんが花の苗を植えてくださいました。マリーゴールドや日々草など夏のお花が花壇に彩りよく咲いていて、とてもきれいになりました。



人権教育推進部の方が各クラスで絵本の読み聞かせをしてくださいました。心わくわくさせながらとても楽しそうに聞き入っていました。

